

ぬかただより

岡崎市立額田図書館
秋号 No.80
2026年9月発行

額田地区にはくらがり溪谷やかおれ溪谷など紅葉の美しい場所があります。紅葉と聞いて真っ先に思い浮かぶのはモミジ(カエデ)ではないでしょうか。今回のテーマは秋に私たちの目を楽しませてくれるモミジ(カエデ)です。

モミジとカエデの違い

皆さんはモミジとカエデの違いをご存知ですか？

日本はモミジとカエデを呼び分けていますが、実は「〇〇モミジ」と呼ばれる樹木はカエデの一種で、植物の分類学上は同じムクロジ科カエデ属です。世界共通の学名では、「Acer(エイサー)」と表記され、英名では「maple(メープル)」と呼ばれています。

では、なぜ日本ではカエデとモミジ、2種類の呼び方があるのでしょうか。

全部「モミジ」だった!?

実は「モミジ」は特定の植物の名称ではなく、もとは紅葉した葉の総称でした。俳句の歳時記には「桜紅葉」や「柿紅葉」という季語が載っており、このことから種類に縛られず、葉が赤や黄色に変わる草木はすべて「モミジ」であったことが分かります。その中でもカエデは代表的な植物だったため、<カエデ=モミジ>を指すようになったのかもしれません。

一方、カエデは葉の形が蛙の手に似ていることから、<かえるて→かえで>になったのではないかとされています。

モミジの語源

モミジは「もみず」という動詞(草木の葉が赤、または黄色くなるという意味)に由来するそうです。「もみず」の語源で有力な説は、染め物の「揉み出す」です。ベニバナ(黄色と紅色の2種類の色素を併せもつ)を水中で「揉み出す」とまず黄色を取り出すことができ、次に、灰汁※(アルカリ水)に浸して「揉み出す」と今度は鮮やかな紅色が出てきます。この様子を紅葉した葉に例えたのではないかとされています。昔の人は草木の葉が露や霜に洗われて、鮮やかな黄色や紅色が揉み出されたため、葉の色が変わったのだと感じたのでしょう。 ※灰汁…植物を燃やした灰を水や熱湯に混ぜて一晩放置すると灰は沈殿、その上澄み液のこと

↓額田スタッフ撮影 額田センター敷地内



モミジ(カエデ)の葉が赤や黄色に変わる様子

氷河期を乗り越えた? 天然記念物ハナノキ

ハナノキは愛知・岐阜・長野の限られた地域にのみ自生するカエデで、1966年、愛知県が県民投票により、県の木に選定しました。県内では北設楽郡豊根村の茶白山山麓にある「川宇連ハナノキ自生地」が国の天然記念物に指定されています。ハナノキの仲間は4500万年前に北アメリカに現れ、ユーラシア大陸全域にまで広まったそうですが、氷河期が繰り返される中で、ヨーロッパでは全滅し、現代では北アメリカのアメリカハナノキと日本のハナノキだけが生き残っています。

カエデの果実

ムクロジ科カエデ属の魅力の1つが翼のついた果実です。初夏ごろ、果皮が変化した翼果と呼ばれる果実が2つ(まれに3つ)向き合って実ります。翼の根元の部分に種子が入っていて、秋になると成熟します。2つセットの果実がひとつひとつバラバラになり、子孫を残すために少しでも遠くに運ばれようと、くるくるとまわりながら、風に乗っていきます。

種子
翼果
果実



↑額田スタッフ撮影 額田センター敷地内

くらがり溪谷とかおれ溪谷

額田地区には紅葉の名所として、くらがり溪谷とかおれ溪谷があります。くらがり溪谷(石原町)は、ほとんどが国有林で溪谷沿いは造林作業除外地のため、自然のままの林相が残っています。かおれ溪谷(桜形町)は2026年世界ラリー選手権日本ラウンドの競技区間のスタート地点だった日近の里の近くにあり、川と赤い橋と美しい紅葉の取り合わせは必見です。

額田センター敷地内にもカエデがあります。秋にはきれいに色づくので、ぜひご覧ください。

←額田スタッフ撮影 額田センター敷地内



●参考資料 ●『カエデ<モミジ>の絵本』田中 浩/編 むらい ゆうこ/絵 農山漁村文化協会 479/力、柳沢律道『「紅葉」と書いてなぜ「もみじ」?ベニバナと意外な関係』日本経済新聞 2012年11月20日、『草木染め大全』箕輪 直子/著 誠文堂新光社 753.8/ク、『いちばんわかりやすい俳句歳時記』辻 桃子/著 安部 元氣/著 主婦の友社 911.3/ツシ、くらがり溪谷パンフレット、『額田町史』額田町史編集委員会/編 額田町 AN/233/ヌ、愛知県公式Webサイト <https://www.pref.aichi.jp/soshiki/koho/0000019120.html>

● 図書館からのお知らせ ●

「おはなしと紙しばいの会」

- ・第2土曜 10:30～11:00
- ・第3金曜 16:00～16:30

「ブックスタート」

- ・偶数月 第1木曜日
- ・10:00～11:00

中止や変更になる場合があります。
最新情報は図書館 HP、館内掲示等でご確認下さい。

としょかん 図書館クイズ！

フランスの作家マルセル・フルーストの書いた世界一長いといわれる小説のタイトルは？

- ① 失われた時を求めて
- ② 失われた愛を求めて
- ③ 失われた近代を求めて

☞ 答えはおたよりの最後です ☞

ヒント

ギネスブックに認定されている
そうです♪

秋号のおすすめ本

ちいさいこむけ

『ハロウィンペンとう』

木坂 涼/文 いりやま さとし/絵 教育画劇 E/ハ

今夜はみんなが大好きなハロウィン・パーティーです。おむすびやたこちゃんウインナーは仮装をして会場へ向かいます。途中でバナナやぶどうたちにも会って、わいわい、がやがや、一緒にパーティー会場へ出発～！一方、会場では魔女の手伝い1年生のうめぼしが大きなパンやハンバーグでおばけバーガーを作ります。最後に魔女が魔法をかけて…。さて何ができるのでしょうか？ハッピー・ハロウィン！！

小学生向け

『虫 絵巻えほん』

タダ サトシ/作 こぐま社 TE/E/ム

折りたたんだページを引き出せば春夏秋冬が一度に見渡せる絵巻えほん。様々な種類の虫たちと、里山で遊ぶ子どもたちが進みゆく季節とともに細かく描かれます。空から見た風景なので、どの季節にどの虫がどんな場所にいるのかよくわかります。登場する虫は約140種類。こんなにたくさんの種類がいつぱんに集合する瞬間に出会えるなんてすごい！虫、人、自然がつながるえほんです。

YA 向け

『リブリアの魔女』

日野 祐希/著 くらはし れい/絵 アリス館 913/ヒ

メノアはリブリア王国の魔法学院を卒業した魔法使いで、夢は魔導師になることです。そのためには魔導師に弟子入りしなければなりません。伝説の魔導師シェリルに会いに行くと、1ヶ月間住み込みで働いた後、試験に合格すれば弟子にするとされます。1ヶ月後、シェリルから第一の試験『おつかい』をしてくるように言われるのですが…。弟子見習いからの脱却をめざしメノアの奮闘が始まります。

大人向け

『『100万回生きたねこ』のナゾを解く』

宮崎 哲弥/著 筑摩書房 726.6/ヒ

世界中で愛され、読まれ続けた絵本『100万回生きたねこ』。この絵本が「絶望の書ともいえる」とはどういうことなのでしょう？主人公のとらねこは何度も生まれ変わり、そのたびに飼い主から可愛がられますが、いつも心は満たされません。やがて野良猫になり、白いねこと結ばれます。愛することを知ったとらねこは、その後、二度と生き返ることはありませんでした。名作絵本を再び読み解ききっかけになる本です。

「モミジ」を題材にした作品は数多くありますが、日本最古の和歌集『万葉集』にも「モミジ」について歌っているものがあります。古くから人々は山を彩る紅葉を愛でてきたのですね。

カエデ属は日本に20数種分布しており、江戸時代には多くの栽培品種が生まれました。それぞれの違いを調べて、細部に注目しながら紅葉狩りをすると面白いかもしれません。



岡崎市立額田図書館

榎山町字山ノ神 21 番地 1 Tel.82-2953

【開館時間】9:00～19:00

【休館日】月曜日 ※祝日の場合は開館、翌日以降の平日に休館。

2024年10月1日(土)～10月31日(日)まで開催

